

# 本学の誕生 [Archives]

# 歴 る



はるか太平洋を越えて-宣教師の便り [ナミュール・ノートルダム修道女会]

## ■女専から4年制大学へ

本学の直接の前身は、1944(昭和19)年に開設された岡山清心女子専門学校(女専)である。太平洋戦争のさなかの、しかも敗色が濃くなつた時期の開設であった。男子の出征による教員不足を補うための女子教員の養成を、設置目的の一つとした。物理化学科・保健科・被服科の3科からなり、それぞれの定員は40名、修業年限は3年であった。この女専の母体は清心高等女学校(高女)である。高女は、現在の倉敷の清心女子高等学校と清心中学校の前身である。

45(昭和20)年の戦争終結は、女専と高女にも大きな変化をもたらした。翌46(昭和21)年にはシスター・メリーニ・コスカ(後に初代学長となる)をはじめとするシスターたちが岡山に戻って来た。シスターたちは、太平洋戦争の勃発により、本国アメリカに送還されていたのである。戦時下、女専と高女は、日本人の理事やシスター、教職員によって維持されていた。

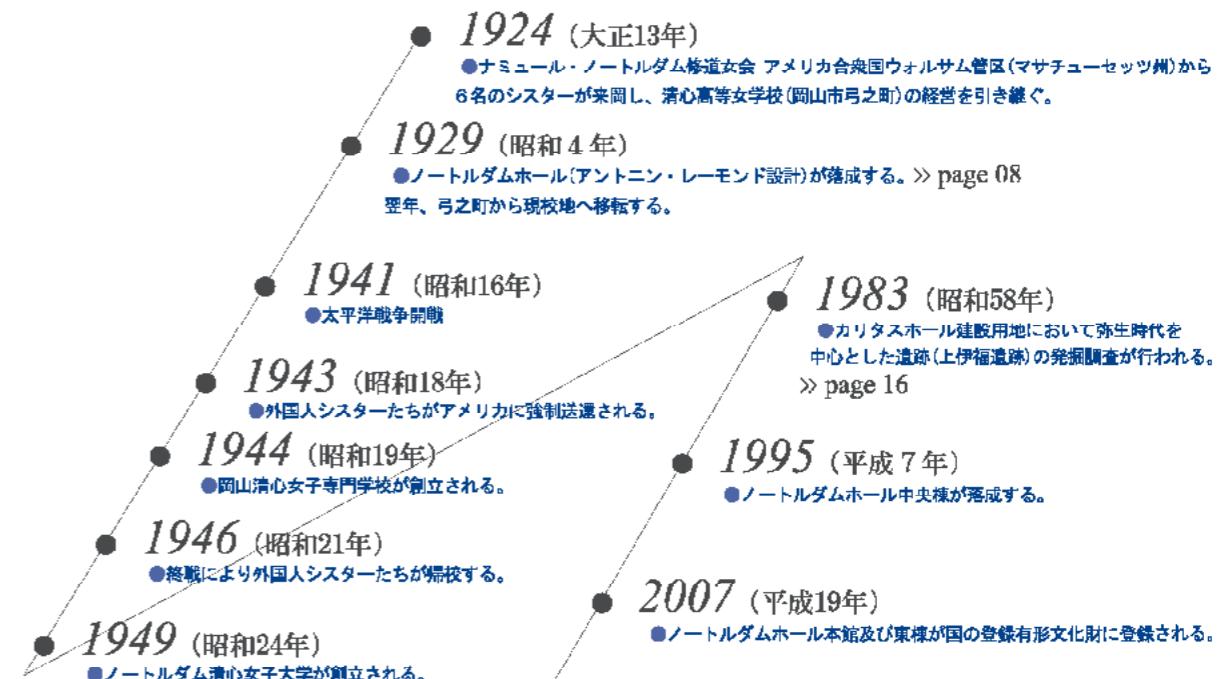
47(昭和22)年には、女専に英文科が新設された。しかしその一方で、翌48(昭和23)年には、入学希望者が少なかつた為に物理化学科の募集が中止された。

学校教育法が施行されたことにより、49(昭和24)年に4年制の大学が発足する。ノートルダム清心女子大学の誕生である。学芸学部に家政学科と英文学科という1学部2学科の体制で、定員はともに40名であった。それによって1951年に、女専は短い歴史を閉じることとなる。

Archives

52(昭和27)年には国文学科が新設された。これにより、文学部(英文学科・国文学科)、家政学部(家政学科)の2学部3学科の体制となつた。国文学科の発足に当つては、カーフ妻(夫人は、第2代学長となるシスター・エーモー・ジュリーの姉)からの寄付金によって、貴重な和歌関係の文献を購入した。これが本学附属図書館の特殊文庫の中核をなす黒川文庫である。

付記:以上は、『ノートルダム清心女子大学二十年史』による。本学の誕生などについて、さらにくわしく知りたい場合は、この大学史をお読みいただきたい。また、この『N.D.S.U. Collection vol.01』にページを割くことのできなかつた黒川文庫などの特殊文庫の貴重な文献については、本学の『特殊文庫目録』を開いていただきたい。



最初に来日した6名のシスターたち

